

# 公民館月報

K O M I N K A N G E P P O

2003

11

November

**特集** 第43回社会教育研究全国集会(岡山集会)分科会発表報告

4.5

- 3 **視点** 笑顔と輝く瞳がみたくて
- 3 **ひろば** 交流の場づくり
- 6 **実践記録シリーズ** 交流を通して子どもが変わる！大人も変わる！
- 7 **サークル交流** 見附昔話の会ほだあかり(見附市中央公民館) / コンサート紹介(中条町中央公民館)
- 7 **素顔拝見** 外河真紀さん(新潟市) / 池田清人さん(松代町)



できた!! 縄文土器だ / 津南町



# 第26回全国公民館研究集会開催 新世紀の公民館創造のために

地域の市民活動・学校教育との協働をめざして

去る10月16日(木)～17日(金)の二日間、わたり、三重県津市の三重県総合文化センターを主会場に、2,100余名の参加を得て、第26回全国公民館研究集会が開催された。今回の研究テーマは、新世紀の公民館創造のために地域の市民活動・学校教育との協働をめざしてと設定し、大会初日には十一分科会に別



れて熱心な討議が展開された。本県からは三名が、いずれも今大会で特設された「市町村合併と公民館」部会に参加したが、とくに当連合会今井昭友会長は、全公連理事として運営責任者を務められ、開・閉会あいさつ、運営面での適切な助言をなされた。また、渡邊副会長は、県公連市町村合併調査・検討委員長の

立場から、新潟県内の状況、県公連の対応等具体的な事例をとおして発言された。

第二日目の全体会の開会セレモニーは、松下誠全公連会長のあいさつ、田村憲久文部科学大臣政務官、野呂昭彦三重県知事の来賓祝辞、引き続き地元近藤康雄津市長の歓迎あいさつで終了した。

アトラクション、三重県無形民俗文化財、「唐人踊り」の公演は、360年余にわたる継承されたもので、喜怒哀楽を表現したひょうきんなお面を被り、色も鮮やかな衣装を身にまとい、銅鑼や横笛に



鳥羽水族館長中村幸昭様から、動物たちの生息、知恵、しつけ等エピソードを交えてのお話で、最後まで動物たちに学ぶ姿勢と環境保全の大切さを訴えておられた。

と題して、最後の記念講演は、「自然から教育を学ぶ」

## 緊急アピール

いま、全国で行財政改革や市町村合併が進む中、公民館は複合施設化、統廃合、職員削減等の問題で、大きな岐路にた

たされています。このような厳しい状況の中で、地域の教育力の向上や明るく活力ある地域社会を再構築するため、社会教育の中核施設である公民館の果たす役割は、今後さらに重要になると考え

ます。そこで、ここに一堂に会した私たちは、新しい生涯学習社会の形成と活力ある地域づくりを推進するため、私たち自らが今後一層努力することを誓い合うとともに、大会参加者の総意をもって、次の事項についてアピールいたします。

### 記

1. 市町村公民館関係職員が、まず意識改革を図ります。
  - (1) 新しく施行された「公民館の設置及び運営に関する基準」の趣旨を踏まえ、自らの職責を強く自覚し、地域住民のニーズを的確に把握した講座・事業の企画・立案・実施に努めます。
  - (2) 講座・事業等のさらなる推進を図るため、施設、設備、資料等を整えながら職員研修の充実に努め、力量の向上を図ります。
  - (3) 外部評価の導入などにより事業評価の改善を図り、またボランティア等の人材をいかして、活力ある公民館を目指します。
  - (4) 合併後の新しい地域づくりを進める住民にとって公民館が必要であり、専門的職員の配置を確保するよう各方面に働きかけます。
2. 都道府県公民館連合会の積極的な活動を促します。
  - (1) 自らの財政についての現状と課題を的確に把握し、財政確立の方向を検討します。
  - (2) 市町村合併にあたっては、市長会、町村長会、当核市町村公民館と密接な連帯を図りながら、公民館の存続・充実に努めます。
3. 全国公民館連合会の果たすべき役割を明確にします。
  - (1) 21世紀の公民館活動のあり方について調査・検討します。
  - (2) 各都道府県公民館連合会の財政確立のための支援・助成に努めます。
  - (3) 公民館活動に必要な情報を積極的に発信します。

平成15年10月17日  
第26回全国公民館研究集会

## 民教協関東・中部・北陸地区 研究協議会開催される

輝こう! 自分らしく 10月25日(土)  
～大人と子どもの夢さがし～ 700名参加

新潟市民芸術文化会館 りゅーとびあ劇場

|                                 |                   |
|---------------------------------|-------------------|
| 午後 1時00分 開会式                    | 2時50分 ヒューマンシンポジウム |
| 1時30分 記念講演                      | コーディネーター          |
| 子どもと共に考える、楽しい不便、<br>買い物難、あしたづくり | 「大人と子どもの夢さがし」     |
|                                 | 神戸 真空子 (評論家)      |
| 講師                              | アドバイザー            |
| 大村 直徳 (放送作家)                    | 大林 直彦             |
|                                 | パネリスト             |
|                                 | 長谷川 晴彦            |
|                                 | ほくせん 藤原 浩         |
|                                 | 小千田 英男            |
|                                 | 佐藤 真典             |
|                                 | 丸山 道子             |
|                                 | 日本新聞650キロ連続中学生    |
| 2時30分 次年度主催番組紹介                 | 4時30分 閉会式         |
| NBN名古屋テレビ放送                     |                   |

## 平成15年度社会教育功労者 文部科学大臣表彰



松田 鐵 夫 様

(糸魚川市公民館運営審議会委員長)  
受賞、誠にありがとうございます。

# 視点

## 笑顔と輝く瞳がみたくて

新潟市中央公民館  
プレイラー 伴 喜美子



「ここで教えてもらったマフラー、娘とお揃いで作ったんですよ。」、首元にベージュのお揃いのマフラーがかけられていた。「リアン風手編みのマフラー」に参加した子どもの親にかけられた言葉に、思わず笑みがこぼれた。

とび出すカード「モンスターからの招待状」で、子どもがワクワクしながら取り組めるよう、また、少し面倒なところも克服した時の喜びを期待しながら製作したものが、「いいの、家に帰ったらすぐ捨てちゃうから」とあっさり言われた時の胸の痛み。

「七宝焼き」は、毎年、参加者が大変多い。キチンとした講師の先生の指導、完成度の高い作品が出来るので、助手をする私も大変、有意義である。反面、「ペットボトルで作る整理箱」の時は、「こんなやり方もあるよ」と、子どもの発想に感嘆し、製作しながら世間話も出来る。

子どもたちと一期一会の感もある活動だが、今、スキップを嫌がる乳幼児が増えている中で、出来るだけ人間関係を根底に置いて、密度の高い楽しいものをと考えている。

# H O T N E W S

## 掲 示 板

### 平成15年度社会教育事業の検証・評価に関する調査研究 —研究委員に神林 茂副会長就任—

#### I. 実施要項

- 1 調査研究課題  
社会教育事業の評価指標の開発
- 2 趣旨  
公民館で実施されている社会教育事業を検証・評価するための標準的なモデル指標を開発し、社会教育行政評価の参考に資する。
- 3 調査研究事項  
(1)公民館事業を評価する視点、評価の基準について  
(2)公民館事業の標準的な評価指標について
- 4 実施方法  
(1)別紙の学識経験者等により、「社会教育事業の検証・評価に関する調査研究委員会」を組織し、調査研究を行う。  
(2)必要に応じ、別紙の者以外の者の協力を得るものとする。
- 5 実施期間  
平成15年7月14日から平成16年3月31日までとする。
- 6 その他  
この調査研究に関する事務局は、社会教育実践研究センターに置く。

#### II. 社会教育事業の検証・評価に関する調査研究委員一覧

|         |                     |
|---------|---------------------|
| 麻生 正 秋  | 秋田県生涯学習センター副主幹      |
| 伊藤 俊 夫  | 助日本生涯学習総合研究所理事      |
| 尾崎 有紀子  | コミュニティリサーチ代表        |
| 神林 水 英  | 長岡市中央公民館長           |
| 清 新 村 耕 | 聖徳大学教授              |
| 鈴 木 部 英 | 福岡県大牟田市教育委員会社会教育主事  |
| 原 服 部 義 | 東京大学助教授             |
| 前 田 義 文 | 独立行政法人国立少年自然の家主幹    |
|         | 宮崎大学助教授             |
|         | 芦屋市立図書館長(前芦屋市立公民館長) |

◎委員長に選出

# 交流の場づくり

## ひろば

川西町公民館運営審議会委員 高津 富士男

先日、町内の「おはなしの会」主催の講演会で、上越市にお住まいの児童文学者、杉みき子さんのお話を聞く機会を得ました。幼い頃に体験した、ある情景とその時の至福の感情が、今でも生きる力の源泉になっている、とお話でした。外からの干渉や束縛がフツと消えた世界を、私はそこに感じたことでした。

私達はさまざまな「とりひき」や「かけひき」の中で生活しています。日常の子育てから安寧を願う高齢者までがその中にあるといえます。「○○したら△△あげる」といった子育てが「□□だから××ほし」となり、そのとりひきの連鎖は人の心や生き甲斐を蝕むのではないのでしょうか。

代価を要求したり、されたりすることのない生活、またはそうした活動の場や機会の提供には大きな意味があると思います。何か考え、思いを持つてちよつと寄ってみる。そんな集まりや地域に密着した活動の力になる。

そんな公民館いいですね。



初日の課題別学習会は「どう活かす?土曜休み-学校完全週五日制がもたらしたものと可能性-」がテーマであった。当公民館の“子どもの居場所づくり”の取り組みが学校完全週五日制導入時期と重なったこともあり、子どもたちの様子から社会教育機関での居場所の有効性について話した。

二日目は今年で30年目を迎える「子ども分科会」に参加した。「子ども分科会」は、日本の社会教育が成人教育中心に語られてきた中で、長い間、子どもと社会教育を結びつけようとする認識がなかった。しかし、各地で子どもの健やかな育ちを促す実践がなされ、検討も加わり、そこに理論的な集約も進めながら力をつけてきたという。今年のテーマは「子どもの育ちとつながりづくり-聞こえますか?“すきま”からのつぶやき-」であり、合計30もの地域での取り組みが発表され、100人以上の参加があった。

オープニングは、岡山市立京山<sup>きょうやま</sup>公民館“ほっとスペース京山”で活動中の若者たちによるストリートダンスパフォーマンス。リズムカルなダンスミュージックに乗って軽やかに踊る子どもたちの顔は晴れやかで、満足そうであった。そして全体会へと移り、6つの分散会をPRするプレゼンテーションが開かれ、続いて各分散会に別れての実践発表、話し合いへと続いた。

私は第2分散会「子どもの意見表明と社会参加」で発表した。発表者は4人、中でも地元岡山の2人の子どもたち(高校生ほか)の発表は、私たちがおとなが日常の中で、子どもたちの自尊心を傷つけていることがいかに多いのかを改めて気付かされる機会になった。子どもたちのストレートな言葉にはインパクトがあり、その場にいた私たちの価値観を揺り動かしたのである。その後続いたおとなの(私も含むのだが…)発表がなんと色あせたものになったことか。ともあれ、私は、当公民館が4年前から取り組んできた中学生から18歳までの“子どもの居場所づくり”活動について、取り組みの経緯と月日を経るごとに見えてきている課題や問題点について発表した。内容は、“公民館の居場所”は単なるスペースとして作ったのではなかった。地域のおとなの学校的な子ども観や、子どものおとなへの不信感を見たり聞いたりし、地域で共に生きる者として互いに理解し合う関係づくりの必要性を地域課題の一つとして捉えた結果の取り組みであり、その手法として“居場所づくり”を選択したこと。地域のおとなのボランティ



子ども分科会での討議

アスタッフと一緒に子どもたちの活動を見守っているなどを話した。それに子どもたちとのかかわりの質について、子どもの人格や意見を尊重し、子どもの最善の利益を実現していく場にする。その意見を聴く機会や子どもたちが参画する機会の実現は、意識だけでは難しく、多くの子どもたちとの具体的ななかかわりの中で悩み、悔やむことが多くなってきている現実を地域にも伝えていきたい。そして、今後は地域で子どもたちを育む団体や学校との連携も課題としていることを話した。

その後の意見交換では、社会教育と学校教育は互いに整合性がないので組めないこと。また既存の組織と手をつなぐことは難しく、メインルートでは困難ばかりが付きまとうので、個人同士をつないだ方がよい、などの意見が参加者から寄せられた。学校も既存の組織も公民館も子どもたちを考えることでは同じであり、なんとか新しい連携の方法を模索したいと思っているのだが無理なのであろうか。

### 3 発表を終えて

岡山集会での経験は、改めて社会教育の可能性と底力を認識する機会になった。

今回、新潟県からは今井昭友県公連会長、聖籠町の手島勇平教育長をはじめとして聖籠町・豊栄市・笹神村・十日町市・当市などの関係職員の他に市民活動をしている方も含めて総勢10人以上が参加されていた。中でも手島教育長は、第22回集会から続けて参加され、社会教育への熱い思いを語る姿は、全国的に注目されている「地域に開かれた学校づくり」を納得させた。

ここ数年は会場が遠く参加が難しかったが、来年度はなんと隣県の福島県猪苗代町で開催される。新潟県からは日帰りも十分に可能である。ぜひ、多くの方から参加していただきたい。社会教育の視点を確認し合うことができるチャンス!!

## 特集

## 集会テーマ

くらしと地域を拓く力を創る

社会教育

## 第43回社会教育研究全国集会

## (岡山集会) 分科会発表報告

新潟市坂井輪地区公民館  
非常勤嘱託  
高橋 文子

## 1. 岡山集会

全国集会は、新潟でも例年残暑が厳しい時期の8月23日(土)～25日(月)に岡山県岡山市で開催された。期間中は気温も連日35度以上が続き、晴天に恵まれ、天候不順の新潟との違いを知らされた。

岡山市は人口63万人、昔から温暖な気候と災害なども少ない土地柄で、「晴れの国おかやま」と言われてきたという。また市内には路面電車が走り、岡山藩城下町の面影を残した緑濃い街並みは印象深いものがある。



楽しい全体交流会

社会教育研究全国集会は、平成13年度に聖籠町で越佐集会として開催されたので憶えている方も多いと思う。実践発表と討議、意見交換を中心にプログラムが組まれ、全国から多くの社会教育関係者(行政職員、研究者、社会教育を学ぶ学生、関心のある市民など)が集う会である。それも自費で参加する人が多いこともあり、会場には熱気が溢れ、充実した時間が流れる。

この度は初日が全体会(記念シンポジウム・基調提案)と課題別学習会、その夜は全体交流会、二日目が分科会と続き、三日目の最終日が全体会(まとめと問題提起)で締めくくられた。

## 全体集会(記念シンポジウム)

岡山市は全国的にみても公民館活動が盛んである。その元気さの秘密を垣間見た時間となった。シンポジウムのコーディネーターは佐賀大学の上野景三さん、シンポジストは公民館職員、市民(総勢100人の“岡山市の公民館を考える市民の会”会長)、市職労前中央執行委員長の3人で、岡山市の公民館充実運動を担ってきたそれぞれの立場から語った。その内容は、市民また行政にとっても公民館が必要であり、その充実が街の豊かさ、街づくりに欠かせないこと、また、この要求が市民のみならず職員組合をも巻き込み、大きな声に広がって行政内部ひいては市長も理解するに至った経緯であった。最後には岡山市長がビデオ出演され、生涯学習(社会教育とは表現されなかった)が文化的に豊かな市民づくり、街づくりへとつながるとの認識を示し、公民館の学習機会の必要性和職員体制の強化をはじめとした公民館の充実施策を打ち出していると述べられた。

その夜の全体交流会では、「おいでんせえ～、おいでんせえ～(岡山の方言でようこそいっしょにいましたの意味)」と唄いながら楽しい踊りの輪が広がった。

## 2. 分科会発表

発表は課題別学習会と分科会の2場面で行った。

# 実践記録

68

シリーズ

## 交流を通して子どもが変わる！ 大人も変わる！

～青森県下田町との「子ども交流会」～

下田村教育委員会 派遣社会教育主事 樋口 健

### 1 はじめに

下田村は同名町村のつながりで青森県下田町と交流しています。以前は大人同士での交流をしていましたが、平成13年度からリニューアルして「子ども交流会」となりました。初年度は教育委員会が主催して参加者を募り、青森県へ出かけました。昨年、青森県から迎えるにあたり、社会教育係へ担当が移行し、地域の子ども会関係者からなる実行委員会を組織して、交流と合わせて地域活動の活性化もねらいとしました。



楽しいゲームでの交流

### 2 子どもへの刺激

青森県下田町は岩手県との県境に近い町です。町内の地域ごとに単位子ども会があり、町全体でも連合会が組織されています。そして、中学生がリーダー研修を受け、中級リーダーとして進行やゲームを進めてまいります。大人は見守

るだけで、高校生や大学生になっても顔を見せる子もいます。中級リーダーは、仲間が説明しているときには参加者を囲むように位置して拍手などで盛り上げます。立つ位置や話し方等、研修の成果が生かされているのを感じます。

下田村の子ども達は、そんなリーダー達の姿に接すると、初めは驚きますが、やがて憧れるようになります。群れて村の仲間からなかなか離れようとしなかった中学生が、進んで交流の輪に入るようになってきます。帰りのバスの中では、「来年は私がゲームの担当をしたい!」と言い出す子も出てきました。

活発な青森の子ども達の姿に触れて、村の子ども達も変化してきます。これが、交流会の最大の成果だと考えています。

### 3 大人も変わる

初年度に青森県へ出かけた地域の方は、中学生リーダーの活躍ぶりにびっくりしたそうです。いちいち大人が指図するのではなく子ども達がリードしていく、そんな組織を下田村でも作っていかなくてはと、思いを強くして帰ってきたそうです。

昨年、下田村で行った交流会では、有志のみなさんから成る実行



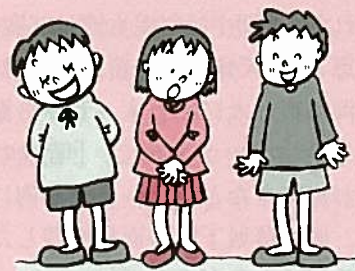
仲よくなるために

委員会を組織し、企画・運営を行いました。子どもスタッフも小中学生から募集して、一緒に企画会議に参加してもらいました。日曜日に集まって、しおりを作る子や初対面同士が仲よくなるためのゲームを考える子など、めざましい活躍をしてくれました。

青森県下田町から刺激を受けた大人たちも変わります。全部大人がお膳立てするのではなく、子どもと一緒に企画したり、活躍の場を提供したりする事業が増えてきています。

### 4 これから

お互いにいい刺激を受けながら交流を続けていきたいものです。下田村では少子化に伴い、集落単位の子ども会から小学校区単位の育成会へと組織作りを進めているところです。各地域の育成会と連動して青森県下田町との交流事業を進め、各育成会も活性化して行けたらと願っています。





昔話を語り継ぐ

見附昔話の会 ほだあかり

「アッタテンガナ、ある処に：。「サンスケ」ふるさとの昔話を楽しみ語り伝える昔話語り部養成講座が昨年行われ、講座の修了生を中心に今年発足したサークルです。

昔話を聞く時、いろいろの中で燃えている櫓木(ぼたぎ)の情景から『ほだあかり』と名付けました。現在、会員は13名です。

毎月第三木曜日に公民館に集まり、語り部の先輩をお手本に、語りの雰囲気を生かし

ながら声に出して語れるように練習を重ねています。

近頃では、地区の老人会や学校から要請があり、語りに出掛けています。また公民館で企画したイベント出演に向けて練習に熱が入っています。

今後は、ご指導いただいた栃尾市の「ろばた会」や、他地域とも交流できればと思います。

見附昔話の会ほだあかり  
小林 英明 記



歌声と音色の響く公民館

ギター教室紹介

わが町の公民館は、さまざまな音楽活動が盛んです。大正琴・コーラス・ギター・オカリナ・叙情歌・ピアノサークルとグラランドピアノを囲み、い



紹介します。「30年前のギターを物置から探してきました。」

と白髪のおじい様。子どものギターを持ってきたシャイなお父さん。

つも音楽が響いています。今回は、町主催の町民講座として募集した「永久的な音色のギター教室」を

「基本が分らない」とギターにステッカーを貼った男子高校生。それぞれの思いのなか一緒に学ぶという仲間意識が生まれ、10月のミニコンサートに向け練習に励んでいます。老若男女が一つの目標に向かって学習する姿は、素晴らしいものです。今後は、新サークルとして活発に活動して行くことでしよう。

中条町中央公民館

社会教育指導員

小俣 優美子 記

今年4月から松代町教育委員会生涯学習課に配属となった「池田清人君」は、畑ちがいの生涯スポーツの配属となり、戸惑いながらも一生懸命にがんばっている。

持ち前の明るさとユーモアを兼ね備えた彼は、誰からも愛される“いい男”なのである。そんな彼も、今は一男一女の良きパパとなり親バカぶりを発揮している。



松代町教育委員会生涯学習課  
主事 池田清人さん

仕事柄、各種行事に協力願っている体育指導委員や実行委員と一献傾ける機会も多いが、悲しいかな、彼はアルコールとは仲良くなれず、一杯飲むと赤信号が点滅するのです。それでもいやな顔をせず最後まで付き合ってくれる。

スポーツを通じた住民の健康づくりは君の双肩にかかっている。これからもよろしく!

(松代町教育委員会生涯学習課 石口丈夫 記)

4月、公民館に配属になった「真紀ちゃん」の一言がユニークだ。「黒崎支所・生涯学習推進課から3メートルの異動で来ました外河真紀です。よろしくお願いたします。」その明るいカラーは、すぐ公民館に溶け込み、窓口対応も爽やかスマイルで住民に好かれている。



仕事に対する姿勢は前向きで何事もテキパキとこなし、家庭  
新潟市黒崎地区公民館  
主事 外河真紀さん

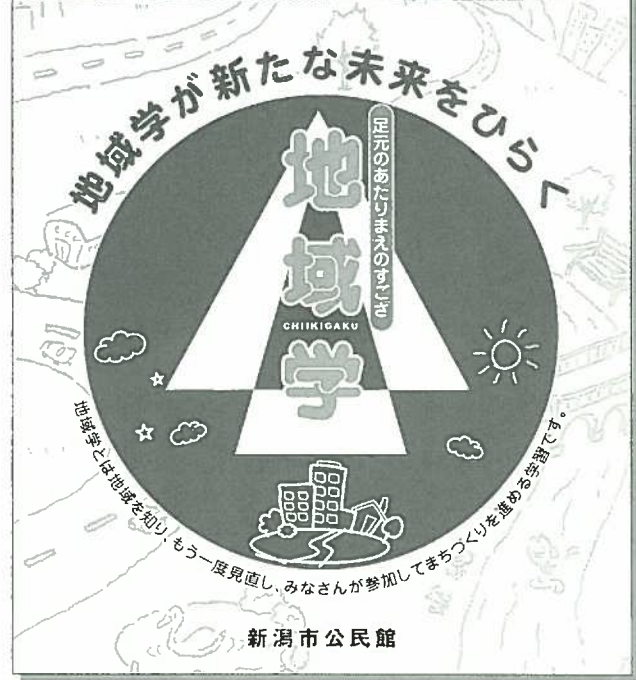
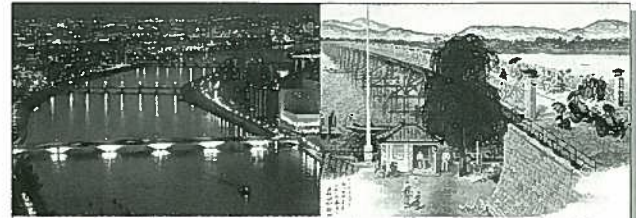
的で、お菓子作りはプロ級の腕前である。

そんなある日、家庭教育学級の保育担当を終え帰ってきた。「ただいま」「お帰りの、どうだった」「子どもっていいネー、好かれてサー、おもしろかったヨ」「真紀ちゃんもはよつくれター」「相手がいないター」可愛い顔の声美人、方言が面白い三十路まじかの独身です。いい人いませんか?

(新潟市黒崎地区公民館 大野耕治 記)



# Net work ネットワーク



## 資料紹介

この資料は、(社)全国公民館連合会が、平成14年度文部科学省の委託事業である「公民館における青少年の奉仕活動・体験活動の進め方」の調査研究を行い、その結果をまとめ、そして刊行したものです。

内容は、序章、1. 個の社会と家族社会の相違とあり方、2. 公民館を拠点とした体験活動・奉仕活動プログラム、3. 今回の調査の進め方、第1章統計調査に見る体験活動の進め方、第2章プログラム作成の留意点、第3章企画・運営のポイント、



〔運営〕第1節受講者による企画・運営、第2節子ども自身による企画運営、第3節ボランティア組織による企画・運営、第4節公民館の職員が主体となつて企画運営(連携)、第5節学校と

## (社)全国公民館連合会

の連携 第6節庁内の文教部局やその他の部局との連携 第7節諸団体との連携、第8節NPOとの連携、第9節児童館や学校など、他の機関との共催や連携、第10節民間事業者委託との連携、(支援)第11節場所、情報、人材などの支援、第4章プログラムの課題 第5章奉仕活動・体験活動の考え方について、そして最後は、資料によって構成されております。  
P181にわたる大冊です。利用・活用を期待しております。

# event information

### 生涯学習社会における公民館活動をサポートします!!

#### 掲載内容

- とびら 学識経験者、文化人、市町村長、公民館関係者等、幅広い分野の方々が生涯学習、社会教育、公民館について語ります。
- 論考 毎月、タイムリーな特集テーマを定め、第一線の研究者等による専門的論文を掲載します。
- 実践事例 特集テーマに沿って、全国の公民館で行われている事業の実践事例、先進的な事業の事例、参考文献・データ等を紹介いたします。
- ロビー 全国の公民館関係者、行政担当者から寄せられる意見、提言等を掲載します。
- わが町の公民館 全国の特色ある公民館施設・モデル事業・活動等を写真入りで掲載します。
- 時の話題 公民館関係者、行政担当者が知っておくと便利な話題などを掲載します。
- 公民館のホームページをつくろう 公民館のホームページをどのように作るか段階・手順を追って、わかりやすく解説します。
- 公民館Q&A 公民館の運営や経営について具体的事例等を織り交ぜ、回答します。
- 読者のひろば 読者のための自由投稿ページです。
- 通信員から地域のたより 全国6ブロックの通信員が、毎月地域・ブロック内の情報を掲載します。
- 各ブロック大会のもよう 全国のブロックの公民館大会や地区の情報を提供します。
- 「こんにちは」に心をこめて アナウンサー・エッセイストであり、全国公民館連合会の理事でもある村松真貴子さんの心温まるエッセイ。
- 行政たより 文部科学省の公民館関係の最新の施策や情報を掲載します。

## 月刊公民館



#### お申し込み方法

指定の申し込み用紙にご記入の上、右記までご郵送 (FAX) ください。

〒107-8560 東京都港区南青山2-11-17 第一法規株式会社 編集第二部

フリーダイヤルFAX ☎ 0120-202-972 TEL 03-3404-2251 (大代表)

## あ と が き

吉報が入って参りました。平成15年度全国優良公民館表彰に、紫雲寺町中央公民館と聖籠町公民館の二館が受賞の栄に浴することとなりました。

10月23日(木) 東海大学記念館での表彰式後、天皇・皇后両陛下拝謁及び庭内拝謁がなされました。詳細については、次号で紹介する予定です。(鈴木 記)

表紙解説 できた!! 縄文土器だ (新潟県中魚沼郡津南町) ハローホリデー事業の土器づくりに挑戦で学芸員の指導を受け粘土採取から野焼を経てできあがったところまで。